

まちのこえへの回答 No.6 (大磯幼稚園のこども園化について)

担当主管課：子育て支援課 (内線 342)

要望等内容	回答
<p>まちのこえの(令和4年度)No. 1. 2. (令和5年度)No. 4の町の回答から、町営こども園に大きなメリットがあることは理解しました。また、町としては民間の保育サービス自体を否定しているわけではないことも把握しました。</p> <p>これらを踏まえて私は民営のこども園化を主張します。</p> <p>なぜなら、早急な待機児童対策のために進めてきた事業として、現状最大の問題点は、民営から町営への方向転換のために開園が延期したことにより、未だ町営の具体案が挙がってこないことだと感じているからです。</p> <p>こども園化の早期実現に向けては、今まで討論を重ねてきました。その後、大磯幼稚園の保護者や町民、町職員等を含めた選定委員会を通して、民営化に向けてすでに法人が内定していた事実もあります。このことから、町営にこだわらないことが保育の受け皿を拡大する最善の道と考えます。</p> <p>町長のおっしゃる町営の素晴らしさの実現のために、今この時も保育の受け皿の拡大を望み、不安な気持ちで待機児童となっている家族を犠牲にしているのでしょうか。本当は大磯で子育てしたいのに、泣く泣く他市の保育園に通わせ、待機児童の数に反映されていない家庭もあります。すでに決まっていた民営のこども園化を見込んで、大磯幼稚園に我が子を入園させた家庭もあります。今後もその点に期待を寄せて入園を考えている家庭もあります。</p> <p>また、保育園の入所保留となり、連日一時保育に通わせ莫大な自己負担を負いながら働いている家庭もあります。</p> <p>保育の受け皿の拡大を望んでる家庭の状況は本当に様々です。</p> <p>犠牲になっている待機児童の家庭は、辛抱強く町の具体的な方針の打ち出しを待っています。</p> <p>しかしながらこの9月までに、議会での議論は混乱を極め、それでいて待機してる家庭の意見を町が抽出している様子も伺えません。(町民の意見聴取で最新のものがありませんでしたらご提示お願いします)</p> <p>ではなぜ、早期のこども園化という点において、民営化が現実的なのか。それは2022年の10月時点で、先に述べた選定委員において、すでに運営する法人が決定されており、その法人における開園の具体的なプラン(新園舎や人事配置、予算等)が提示されていたからです。(内容の公表はされておきませんが、各法人のプレゼンテーションが傍聴可能でした。個人的には、</p>	<p>町政につきましては日頃より御理解、御協力いただきありがとうございます。令和5年9月4日付けでまちのこえに投書いただいた「大磯幼稚園のこども園化」につきまして以下のとおり回答いたします。</p> <p>まず初めに、大磯幼稚園の認定こども園化につきまして、予定どおりの進捗が図れないことにより開園を待ち望んでいた保護者や子どもたち、そして多くの町民の皆様大変御心配をおかけすることになってしまいお詫びいたします。</p> <p>認定こども園化の一番の目的は、待機児童の早期解決です。そのため、町としましては、町長のゼロベースで今一度検討するという発言にもありましたように、町立にこだわることなく、待機児童問題を解決するための考えつくあらゆる手段について検討することといたしました。</p> <p>現段階ではその検討結果をお示しすることはできませんが、待機児童が発生している今、時間的猶予がないことは認識していますので、早い段階で検討状況や方向性について、保護者の皆様方にも御説明しつつ事業を進めてまいりたいと考えています。</p> <p>なお、現状でお子様が保育園等に入所することができず、いわゆる待機児童となっている家庭への意見聴取等は実施していませんが、民営化決定時点における保護者の皆様からの御意見として、早朝保育やデリバリー給食の実施についての御要望をいただいておりますので、令和6年度においては、現行の町立大磯幼稚園のサービスを拡充することで保育ニーズに対応していく予定であります。</p> <p>具体的には、1つ目の対策として、預かり保育を夕方は18時まで1時間延長することに加え、新たに朝7時半から9時までの早朝保育を実施していくとともに、2つ目の対策として、希望者に対してデリバリーの給食を提供してまいりたいと考えています。</p> <p>また、0～2歳児については、早急に準備ができる保育事業の実施に向けて具体的な方策を検討してまいります。</p> <p>最後になりますが、大磯町で子育てをしている皆様、また、これから大磯町で子育てをしていきたいと考えている皆様が、安心して生活できる保育環境を整えるため、本事業につきましては、スピード感と責任をもって取り組んでまいります。</p>

町長が町営に方向転換する時点での比較材料として公表していただきたかったです。)

今現在の流れを見ましても、これを上回る町の方針は打ち出されておられません。いつまで待てばいいのでしょうか。議会での混乱はもっともであり、議員が開園を足止めをしてとは思いません。

町営化の主張においては、度々セーフティネットという言葉を見かけます。しかし予定されていた公私連携型の民営こども園であれば、その点において町が力を入れて強化することは可能であったはずで、今最重要視されることはそこではないと感じています。子どものための素晴らしい園というのは、そのスタート形態が全てではなく、開園後の「人の力」で作り上げていくことが可能なのではないのでしょうか。

これに対して、町長が2023年9月の議会で述べたゼロベースに戻して考えるという「ゼロベース」とは、早期待機児童対策における、大磯幼稚園の早期のこども園化に向けてという認識でよろしいのでしょうか。

ならば、数年前にこの事業が立ち上げられたそもそもの目的と、そこから賛成反対様々な意見を吸い上げて少しずつ形を成したこの事業の本質、そしてそれを信じて人生設計をされてきた今まさに保育を必要とする家庭のことを最優先に考えていただき、ぜひ民営での早期こども園化を進めていただきたいです。

また、お忙しいとは思いますが、このこども園化に関する説明会の頻度を少し上げていただきたいです。これだけの混乱を招いてる上で町の意向が見えないことには、各家庭のライフプランが非常に立てにくいです。そして、この件に関わる説明会につきましても、ぜひ託児の設置をお願いしたいと考えます。一時保育に預けて参加したいと考えても、保育の受け皿の不足により、急な受け入れが難しい現状です。

我が子のことを第一に考える親の立場として、本来ならどのような園になるのかを吟味し、納得した上で我が子の受け入れ先を決めたいです。しかし、議論は平行線のまま、むしろ逆行しているように感じます。預け先がない、働けない、仕事を続けられないという事態になっています。またこの件についてどんなに様々な議論がなされても、その発言をした方々が、待機児童となっている各家庭の多様な生活形態を細やかに保障してくれるわけではありません。私には私の家族の生活を守る責任があります。だからこうして声を挙げたいと考えました。

まちのこえは、一般的な匿名のアンケートや意見表明とは違い、個人情報を入力した上で提出するという、一町民にとっては勇気のいるものです。

それが何件も、民営のこども園化について声をあげてる現状に、真摯に向き合っていただきたいです。よろしくお願い致します。

※ 本件に関する主管課は次のとおりです。
子育て支援課 保育園・幼稚園係（内線 342）

まちのこえ受付日：R5.9.4

掲示日：R5.10.4